平成30年6月25日開催 第４回県政ランチミーティングに寄せられたご意見への対応状況について

１　開催概要

・開催日　　平成30年6月25日(月)　12：00～13：00
・会　場　　長野県庁３階　第３応接室
・参加グループ　御嶽山火山マイスターネットワーク
・懇談内容　御嶽山火山マイスターの活動について

２　参加者のご意見の概要と、ご意見に対する対応状況

（１）御嶽山を地域活性化にどう活かしていくか

（ご意見の概要）

御嶽山は信仰の山として栄えてきたが、若い世代には関心がない人も多くなってきた。スキー場も一時期に比べれば低迷している。一方で岳麓観光は、スポーツイベント等で都会の人に人気がある。新しい観光に向けて御嶽山の魅力を伝えていく必要がある。木曽全体でも観光プロジェクト会議が動いているが、ヘルスツーリズムが上手くいく可能性が高いのではと意見が出ている。来年になればマイスターメンバーも増えると思うので、観光面でも活躍してくれるメンバーが出てきてほしいと思う。

（知事の発言）

御嶽山は畏れる対象であると同時に「宝の山」であり、どうやって活かしていくかが、木曽地域の将来にとっては重要である。観光振興や地域振興に向けて、長期滞在やリピーターを念頭においた新しい観光の在り方を考えていかなければ立ち行かなくなってくると思う。観光政策に、皆さんの活動をどうつなげていけるかを考えていく必要があると思う。

（ご意見等に対する対応状況）

地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役としての役割を果たす「広域型DMO・DMC」の形成・確立が重要です。引き続き、長野県観光機構のDMO形成支援センターが中心となって「木曽観光地域づくり戦略プロジェクト会議」に参加・支援していきます。

【担当課：観光部　山岳高原観光課】

（２）火山都市国際会議の開催について

（ご意見の概要）

我々は、隔年で開催される「火山都市国際会議」を木曽地域で開催することを目標にしている。

まず、地域が開催に向けて一丸になっているという機運を高めなければならない。噴火があって、木曽地域はピンチな状態。この会議は、ピンチをチャンスに変える契機になると思う。火山から逃げずにむしろ前向きにとらえて、木曽地域を世界に発信していきたい。非常に大規模なイベントなので、手を付けられていない状況だが、火山防災の先進

地として、ぜひ開催したい。

（知事の発言）

よいお話だと思うので、危機管理部と観光部で開催を研究してほしい。

（ご意見等に対する対応状況）

「火山都市国際会議」については、過去の開催状況や会議内容について調査し、どのような支援が出来るか研究してまいります。

【担当課：危機管理部　危機管理防災課】

【担当課：観光部　山岳高原観光課】

３　問合せ先

企画振興部広報県民課県民の声係

電話　026-235-7110

FAX　026-235-7026

E-mail　koho@pref.nagano.lg.jp